

協議結果

1. 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

1) 評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

○結果

下記の協議状況のとおり、協議会規約第 12 条第 4 項により、本議案については承認されたが、下記の「構成員からの意見」を踏まえ、一部の記述内容を修正する。

【協議状況】

回答数:24名／24名(会長を除く委員) 「承認する」と回答した委員数:24名
--

【承認する】

意見番号	構成員からの意見	意見に対する回答
1	⑥事業の今後の改善点について ・「移動方法等の認知度を高め」、「移動に対する意見や不満を吸い上げ」といった記載がありますが、それぞれ具体的に取る内容を明記いただくことはできないでしょうか。	<u>記述を修正しました。</u>
2	⑥事業の今後の改善点について ・赤土・小出乗合タクシーの未達成の主な理由として、「PR不足による認知度不足」が掲げられておりますので、⑥今後の改善点として盛り込むことを検討してはいかがでしょうか	<u>記述を修正しました。</u>

この他にも、以下のとおりご意見をいただきました。

特になし

2) 評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定事業）

○結果

下記の協議状況のとおり、協議会規約第 12 条第 4 項により、本議案については承認されたが、下記の「構成員からの意見」を踏まえ、一部の記述内容を修正する。

【協議状況】

回答数:24名／24名(会長を除く委員) 「承認する」と回答した委員数:24名
--

【承認する】

意見 番号	構成員からの意見	意見に対する回答
1	①事業の結果概要について ・予定する調査内容の結果概要として、事業評価時点で完了している内容と、未完了の内容をそれぞれ何を行った・行う予定なのか分かるような記載を盛り込んだ方がより一層分かりやすと思います。	<u>記述を修正しました。</u>
2	②事業実施の適切性について ・事業評価時点で全ての事業が完了していない場合は、「～実施されている」という記載が適切ではないか。	<u>記述を修正しました。</u>

この他にも、以下のとおりご意見をいただきました。

<p>交通の不便な地域住民、特に高齢者の対して利用がしやすい地域公共交通の確保をお願いします。</p> <p>警察としては、特に高齢者の交通事故防止の観点から、引き続き運転免許証の申請取消し(自主返納)制度を促進してまいります。</p>
<p>超高齢化社会が急速に進行する状況下において、交通事故防止など地域の安全・安心の確保が急務となっている。</p> <p>買物等の足となっているマイカー利用の高齢者の免許証返納の促進などの改善にもつながる地域の公共交通整備は、必要不可欠である。</p>

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について

1. 事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価は、協議会が生活交通確保維持改善計画に位置付けられた補助対象事業について、事業の性質に応じ、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に実施されることを目的としています。

2. 評価対象年度及び対象計画

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度評価を実施することとなっております。

(1)地域公共交通確保維持事業 ◇陸上交通

・評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

対象計画：生活交通確保維持改善計画（令和元年6月27日の第25回協議会、令和2年3月15日の第28回協議会）

計画期間：令和元年10月1日から令和2年9月30日

(2)地域公共交通調査等事業

・評価対象事業名：地域公共交通調査事業（計画策定）

補助金交付決定日：令和2年6月5日

3. 事業評価

協議会において、上記2に掲げる「自己評価（一次評価）」を実施します。この度、書面にて審議をいただく内容となります。

下記の5にて、事業評価についての説明とし、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金については、参考として資料2を説明資料として添付しました。自己評価（一次評価）の承認をいただいた後、その結果を新潟運輸支局へ報告いたします。（令和3年1月）

なお、協議会が実施した「自己評価（一次評価）」の結果については、協議会において公表することとしております。

4. 二次評価について

北陸信越運輸局において、協議会の事業評価（自己評価）等を基に、学識経験者等の有識者及び運輸局担当部長等により構成される第三者評価委員会を経て二次評価を行い、その評価結果を協議会に対し通知するとともに、必要に応じて生活交通確保維持改善計画の見直し等に関する助言を行います。また、ホームページ上で二次評価の結果を掲載します。

5. 事業評価書について（別添1）

1) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

生活交通確保維持改善計画 (地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係) に基づき実施した、魚沼市乗合タクシー事業 14 系統 (内路線型 2 系統、区域型 12 系統) の事業評価となります。小出まちなか循環線 (順回り、逆回り) が路線型となり、その他系統は区域型となります。

別添 1 については、「運行系統」毎に、記載しました。

① 補助対象事業者等

運送事業者名を記載しました。

② 事業概要

路線名を記載しました。

③ 前回 (又は類似事業) の事業評価結果の反映状況

前回の事業評価結果を生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したのかを記載しました。

④ 事業実施の適切性

生活交通確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A,B,C の 3 段階で評価しました。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにすることしますが、運行に伴う事故等の発生が無く、予定とおりの運行が実施できたため、運行する全路線を A 判定としました。

【表示の説明】

A : 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B : 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C : 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

⑤ 目標・効果達成状況

生活交通確保維持改善計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、設定した目標ごとに A,B,C の 3 段階で評価しました。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上明らかにして記載しました。なお、資料 2 を基にして記載しておりますが、資料 2 での評価の記載にあたっては、「定量的な目標・効果」について、必要な指標等を記載したうえで、「目標・評価達成状況等」の結果を一覧表にまとめたものになります。

【表示の説明】

A : 事業が計画に位置付けられた目標を達成した (する見込み)

B : 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった (一部達成できない見込み)

C : 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった (達成できない見込み)

⑥ 事業の今後の改善点（特記事項を含む）

上記の検証結果を踏まえて具体的な改善策を検討し記載しました。「事業実施の適切性」や「目標・効果達成状況」において、「B」「C」となった項目を中心に、そのようになった要因を分析し、事業の今後の改善点及びより適切な目標を設定することとします。評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか（方向性又は具体的な内容）を記載しました。

2) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）

魚沼市地域公共交通計画策定に係る調査事業になります。本市の地域公共交通に係る現況調査や現計画達成度調査等を行い、これまでに4回の協議会を開催しました。「魚沼市地域公共交通計画」を3月に取りまとめることとしています。

別添1については、事業の結果等を記載しました。

① 事業の結果概要

地域公共交通計画を取りまとめるまでの事業概要について記載しました。

② 事業実施の適切性

事業が適切に実施されたかを、A,B,Cの3段階で評価しました。計画どおりに実施されているため、A判定としました。

【表示の説明】

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

③ 生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

事業の必要性を踏まえた方針等を記載しました。

6. その他

国土交通省では、事業評価を通じて地域公共交通確保維持改善事業を効果的な実施のため「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施に向けてーガイドランスー」を作成し、ホームページに掲載しておりますので、ご案内いたします。

「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施に向けてーガイドランスー」

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000041.html

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月13日

協議会名:魚沼市地域公共協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

別添1

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
奥只見タクシー(株)	小出まちなか循環線(順回り)	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A *計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比: 84% 目標: 1,320人→実績1,112人 【未達成の主な理由】 新型コロナウイルスによる影響	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
奥只見タクシー(株)	小出まちなか循環線(逆回り)	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A *計画通り、適切に実施された。	A 【達成状況】 輸送人員目標値比: 106% 目標: 1,010人→実績1,074人	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
株小出タクシー	小出地域乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A *計画通り、適切に実施された。	A 【達成状況】 輸送人員目標値比: 112% 目標: 7,250人→実績8,113人	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
株小出タクシー	湯之谷地域乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A *計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比: 94% 目標: 390人→実績367人 【未達成の主な理由】 新型コロナウイルスによる影響	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
株小出タクシー	田中・清本・長松・米沢乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A *計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比: 99% 目標: 450人→実績445人 【未達成の主な理由】 新たに追加した商業施設へ利用が増えたものの一步目標に届かなかった	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
株小出タクシー	三ツ又乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A *計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比: 83% 目標: 880人→実績734人 【未達成の主な理由】 新型コロナウイルスによる影響	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
ひかり交通(株)	上稲倉・魚野地乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A *計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比: 93% 目標: 3,660人→実績3,407人 【未達成の主な理由】 新型コロナウイルスによる影響	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ひかり交通(株)	新道島乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A * 計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比:78% 目標:1,200人→実績:933人 【未達成の主な理由】 高齢化の進展、新型コロナウイルスによる影響	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
奥只見タクシー(株)	滝之又乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A * 計画通り、適切に実施された。	A 【達成状況】 輸送人員目標値比:101% 目標:1,060人→実績:1,072人	高齢者等に対して、移動方法等の認知度を高め、利用者の新規開拓を図る。 ・免許証自主返納等へ新たに交通ガイドブックを配付する。
奥只見タクシー(株)	水沢・越又・泉沢乗合タクシー	利用者ニーズの把握に努め、経路の見直し(市役所新庁舎)を行い利用促進に努めた。	A * 計画通り、適切に実施された。	A 【達成状況】 輸送人員目標値比:101% 目標:840人→実績:849人	老人会等を対象にした「乗合タクシーの予約方法や通院利用の方法等」の出前講座によって、利用促進を図る。
観光タクシー(株)	赤土乗合タクシー	利用実態の把握に努め、運行便数の見直しを行った。	A * 計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比:58% 目標:40人→実績:23人 【未達成の主な理由】 高齢化の進展、新型コロナウイルスによる影響	高齢者等の移動に対する意見や不満を吸い上げ、より利用しやすい運行形態を、地域と一体となって検討する。 ・地元区長会等との検討会議を開催する。
観光タクシー(株)	福山新田乗合タクシー	利用実態の把握に努め、運行経路及び便数の見直しを行った。	A * 計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比:83% 目標:1,500人→実績:1,252人 【未達成の主な理由】 高齢化の進展、新型コロナウイルスによる影響	高齢者等の移動に対する意見や不満を吸い上げ、より利用しやすい運行形態を、地域と一体となって検討する。 ・地元区長会等との検討会議を開催する。
観光タクシー(株)	高倉乗合タクシー	利用実態の把握に努め、運行経路及び便数の見直しを行った。	A * 計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比:66% 目標:2,300人→実績:1,522人 【未達成の主な理由】 高齢化の進展、新型コロナウイルスによる影響	高齢者等の移動に対する意見や不満を吸い上げ、より利用しやすい運行形態を、地域と一体となって検討する。 ・地元区長会等との検討会議を開催する。
観光タクシー(株)	赤土・小出乗合タクシー	利用実態の把握に努め、市街地へ移動需要に対応するため、本路線を新設した。	A * 計画通り、適切に実施された。	C 【達成状況】 輸送人員目標値比:77% 目標:70人→実績:54人 【未達成の主な理由】 PR不足により、新たな移動手段の認知度が高まらなかったため	高齢者等の移動に対する意見や不満を吸い上げ、より利用しやすい運行形態を、地域と一体となって検討する。 ・地元区長会等との検討会議を開催するとともに、PRチラシの全戸配布によって利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月13日

協議会名:	魚沼市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>魚沼市では長岡市へと通じるJR上越線、さらには市中心部と市北部地域(守門・入広瀬地域)を結ぶJR只見線が結節するJR小出駅を中心に、路線バス及び乗合タクシーの連携による公共交通網を形成している。小出地域には、大規模商業施設や市民の高度医療を担う市立小出病院が立地しており、市内各地域から小出地域のへのアクセス向上が重要な課題である。</p> <p>このような背景のもと、小出周辺地域(堀之内、広神、湯之谷地域)においては、乗合タクシーの小出中心部への直通運行を行うなど、利用者の利便性向上に努めてきた。</p> <p>特に、自動車運転免許を持たない高齢者等にとっては、乗合タクシーが唯一の移動手段となっている地域もあり、乗合タクシーの存続が、日常生活を支えている。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、乗合タクシーを確保・維持し、小出駅を交通結節点として、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和3年1月13日

協議会名:魚沼市地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【名称】 魚沼市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通に関する現況調査と現計画達成度評価(完了) ・利用者ニーズ調査(完了) ・交通事業者ヒアリング(完了) ・魚沼市地域公共交通計画(案)取りまとめ(継続中) ・協議会開催(継続中) 	A	*計画通り、適切に実施されている。	<p>公共交通を取り巻く環境の変化として、市庁舎移転(R2年5月)と、これまでの取り組みの評価を踏まえて、本調査事業を活用し、公共交通に対するニーズを把握・整理する必要がある。</p> <p>また、公共交通の課題・要因及び公共交通のあり方について調査・分析をするとともに、地域特性に応じた持続可能な公共交通網を具体的に再構築していくための「魚沼市地域公共交通計画」を、3月に取りまとめることとしている。</p>